

「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」： 導入後半年を経て

— 「ロイター・ニューズメーカー」における講演 —

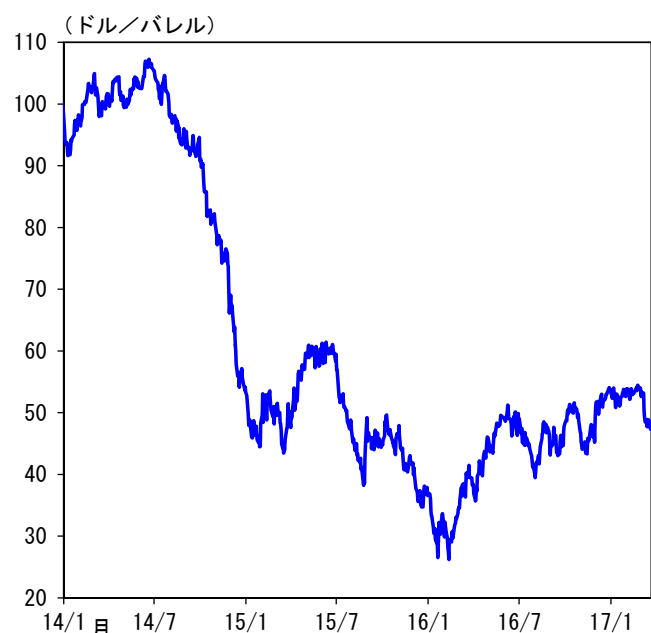
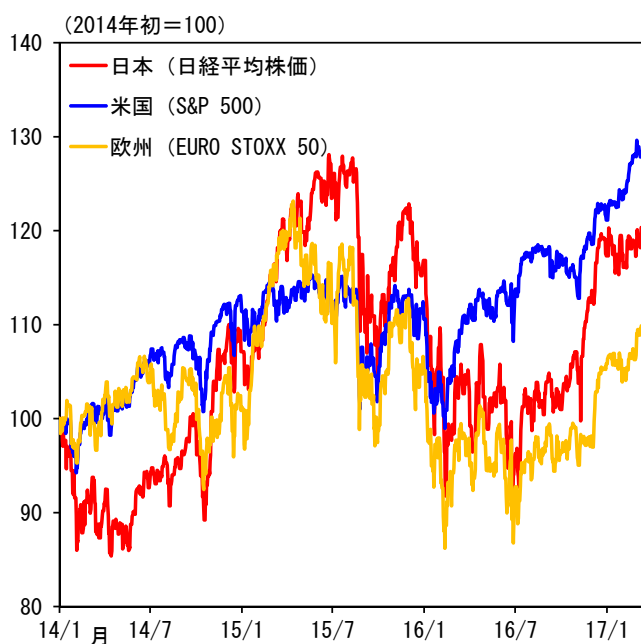
2017年3月24日
日本銀行総裁
黒田 東彦

図表 1

国際金融市場

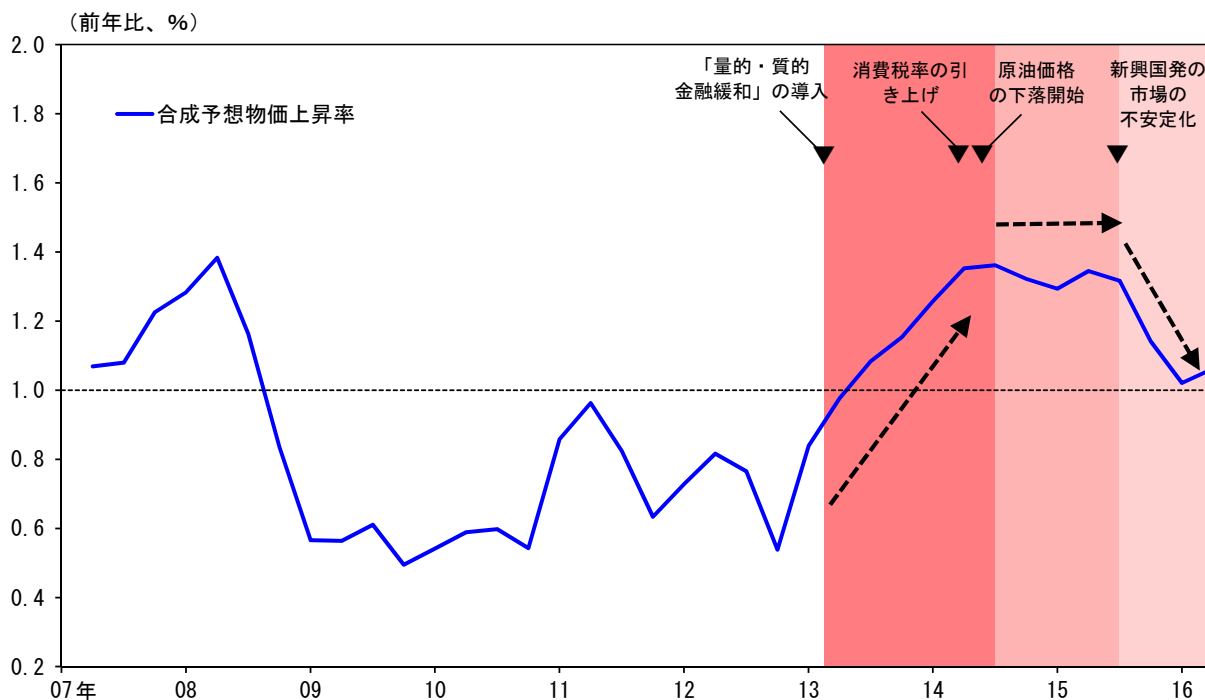
主要国・地域の株価

原油価格 (WTI)



図表 2

「量的・質的金融緩和」導入後の予想物価上昇率



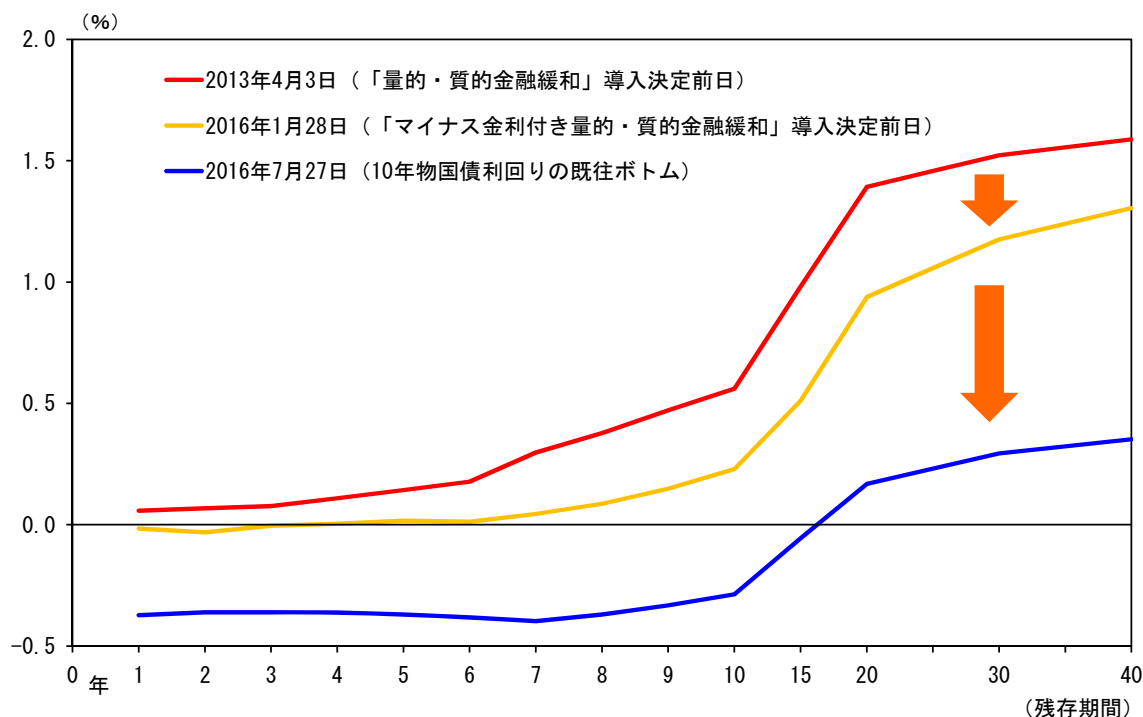
(注) 1. 合成予想物価上昇率は、企業、家計、エコノミストの予想物価上昇率を合成したもの。各主体のインフレ予想として、企業は短観、家計は生活意識アンケート、エコノミストはコンセンサス・フォーキャストを使用。
2. コンセンサス・フォーキャストは、2014/2Q以前は半期調査を線形補間。生活意識アンケートは、+5%以上および-5%以下の回答を除く。短観（販売価格D I）は、3か月前比の実績。

(資料) Consensus Economics「コンセンサス・フォーキャスト」、日本銀行

2

図表 3

マイナス金利導入決定後の国債イールドカーブの変化

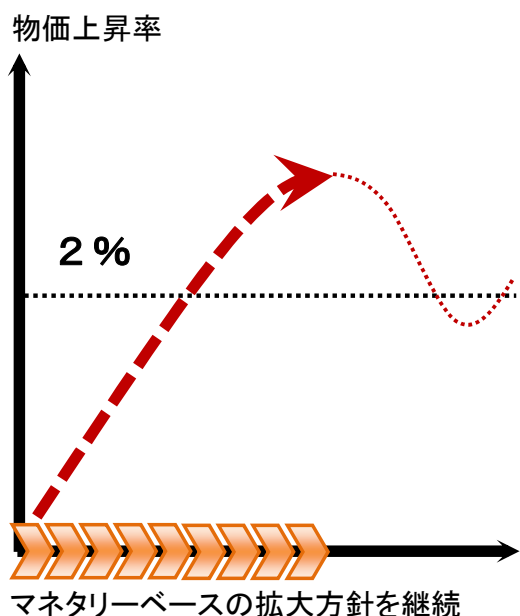


(資料) Bloomberg

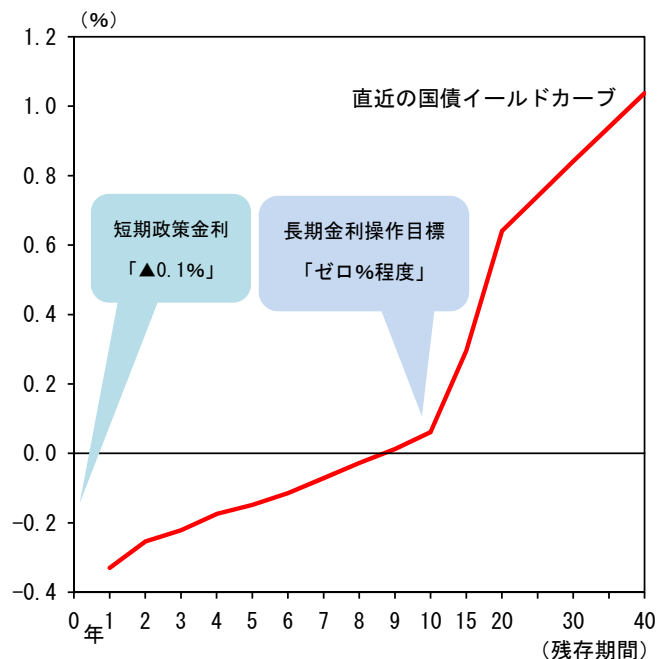
3

「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」

オーバーシュート型コミットメント



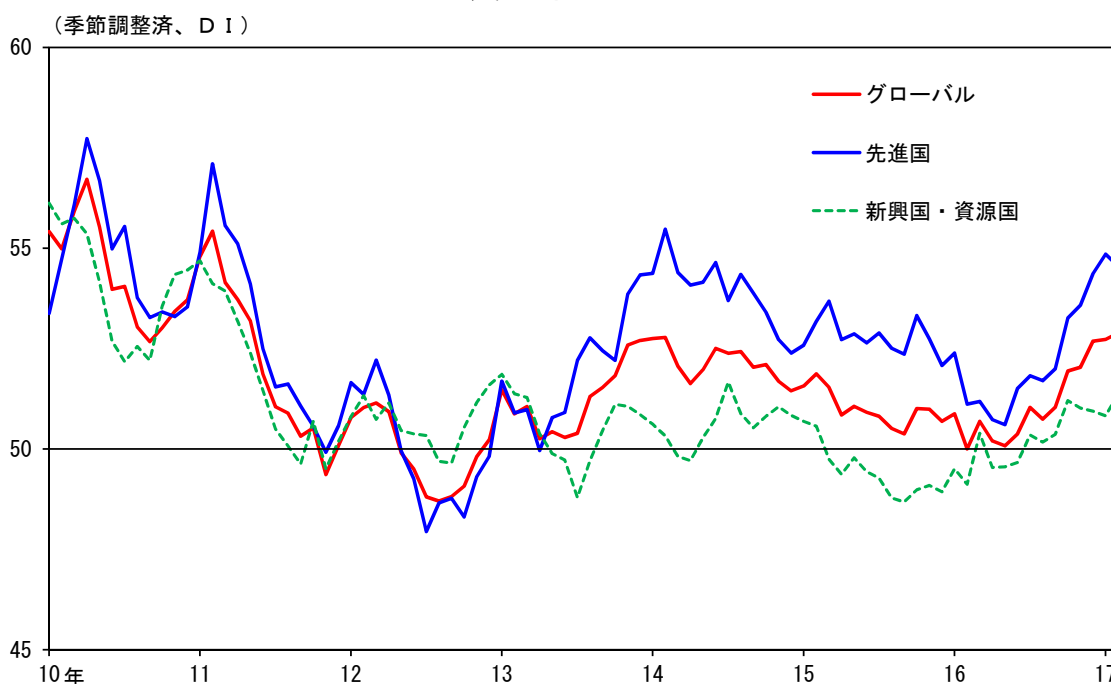
イールドカーブ・コントロール



(資料) Bloomberg

製造業の景況感

製造業PMI

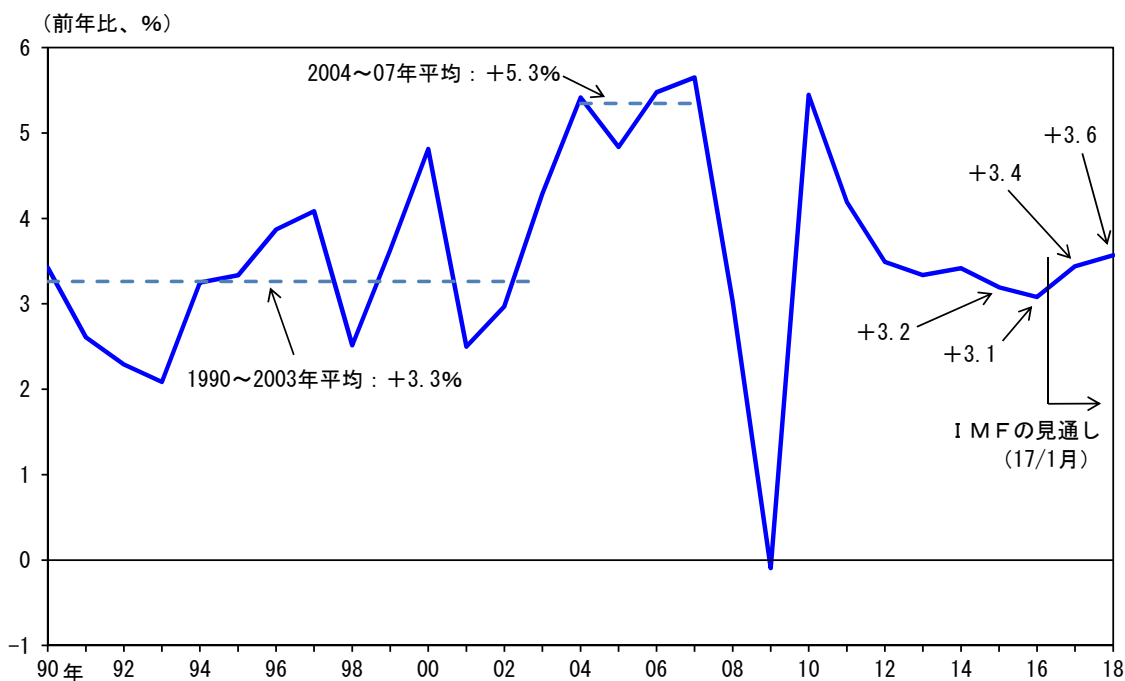


(注) 製造業PMIのグローバルは、J.P. Morganグローバル製造業PMI。先進国は4か国・地域(米国、ユーロ圏、英国、日本)、新興国・資源国は17か国・地域(中国、韓国、台湾、ロシア、ブラジルなど)の製造業PMIを、IMF公表のGDPウエイトで加重平均したもの。

(資料) IMF、IHS Markit (© and database right IHS Markit Ltd 2017. All rights reserved.)、Haver

IMFによる世界経済の成長率見通し

世界経済成長率の推移



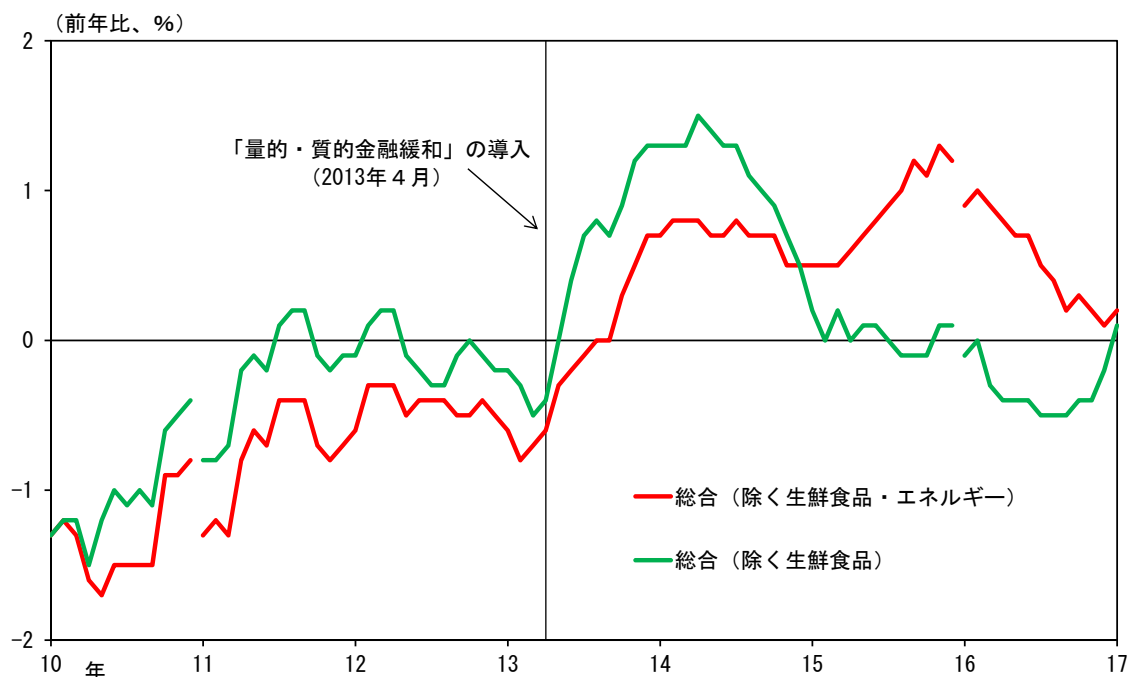
(資料) IMF

消費活動指数



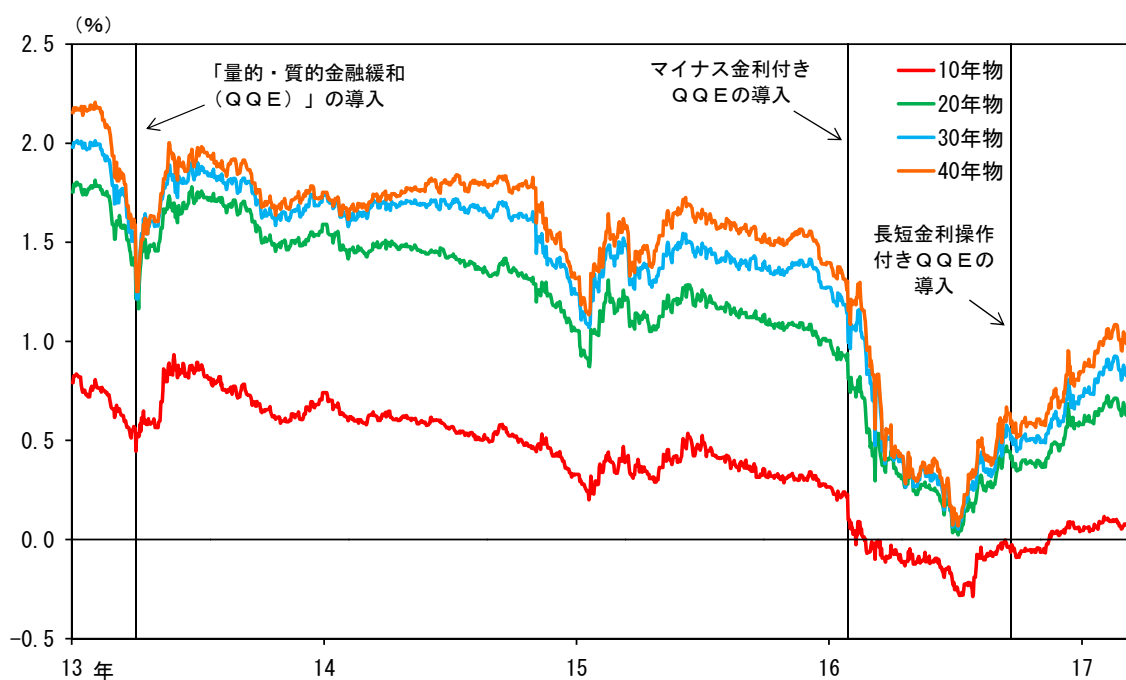
(注) 除くインバウンド消費・含むアウトバウンド消費。
(資料) 内閣府、日本銀行、経済産業省、総務省等

消費者物価



(注) 消費税調整済み (試算値)。
(資料) 総務省

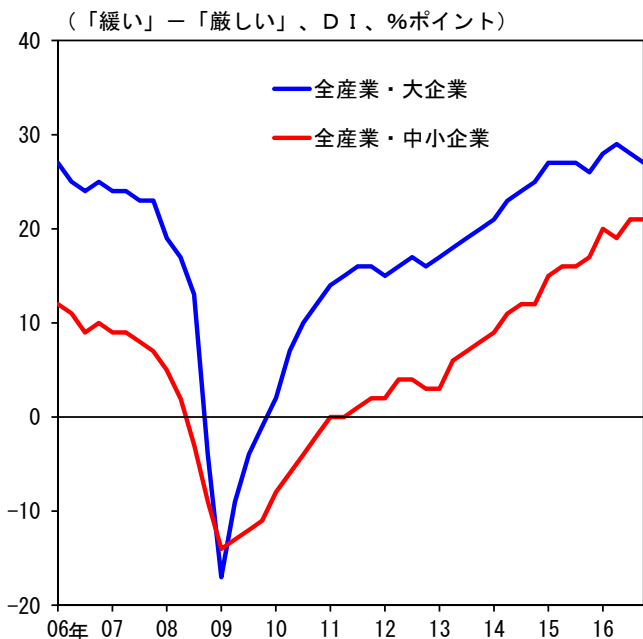
超長期国債の利回り



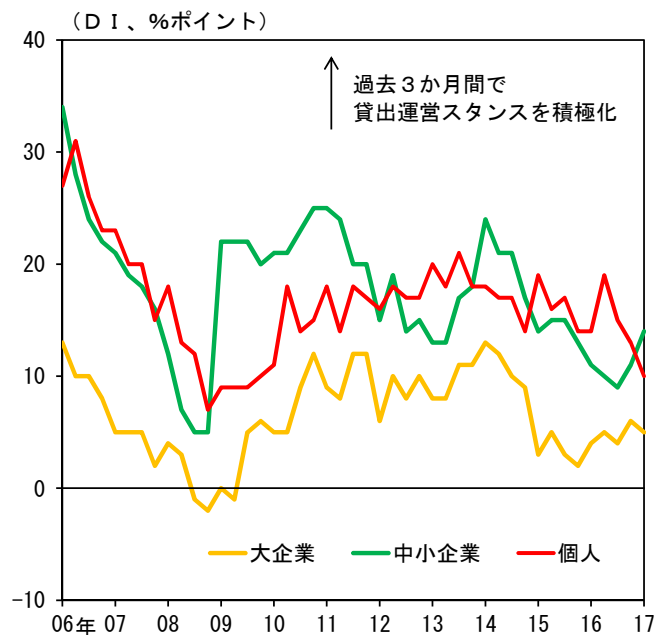
(資料) Bloomberg

金融機関の貸出スタンス

企業からみた金融機関の貸出態度 (短観)



銀行からみた貸出態度 (主要銀行貸出動向アンケート調査)



(注) 銀行からみた貸出態度のD Iは、以下の通り算出。

$$D I = (\text{「積極化」とした回答金融機関構成比} + 0.5 \times \text{「やや積極化」とした回答金融機関構成比})$$

$$- (\text{「慎重化」とした回答金融機関構成比} + 0.5 \times \text{「やや慎重化」とした回答金融機関構成比})$$

(資料) 日本銀行